

同志社大学生命医科学部 市川寛研究室 へ行ってきました！

同志社中学校数学科

2015年1月31日(土)午後、12名の中学生が同志社大学京田辺キャンパスにある生命医科学部の研究室を訪ねました。

☆予防健康医学研究室☆ http://biomedical.doshisha.ac.jp/graduate/g_system/system.html

市川寛教授の研究室では、ガンや動脈硬化などの生活習慣病にかかる人を減らすため、予防医学という分野の研究をされています。以前はお医者さん中心の医療が、現在はチーム医療となり、栄養学、工学の専門家がお医者さんと一緒に患者を診る時代になっているそうです。医者以外の関わり方で医療に貢献したい人を育てるのが生命医科学部で、今たいへん人気があります。



イラスト入りのスライドでの講義で、がん予防の最前線というテーマでお話していただきました。酸化のメカニズムは少し難しかったですが、タバコや日焼け(紫外線)の有害性、野菜や大豆を摂る国、地域は がんによる死亡率が低いことなど具体的で科学的なデータをもとに説明されたのでたいへんわかりやすかったです。

講義の後は、研究施設を見学しました。ラットの腸の細胞や、精子が動く様子を顕微鏡で観察しました。また、生物を生きたまま観察できるライフイメージング顕微鏡を見たり、遠心分離機を見たりしました。



スポイトでごく小さな量(100 マイクロリットル、1 マイクロリットルは 1 ミリリットルの 1000 分の 1)を測り取る体験もしました。集中力が必要で、難しいです。

最後に、市川先生から、これからの時代は医学に限らず、異業種、他の職業の人とコミュニケーションを取れる人が求められている。今までと違う考え方を知ったり、新しいことにチームでチャレンジできる人がいい研究、いい仕事ができると思う。中学生の皆さんには、いろんな分野を幅広く学んで、いっぱい体験してほしいとメッセージをいただきました。

